

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	椿
住 所	豊田市上郷町会下山73-4
電話番号	0565-77-5353

事業所番号	2313401776
管理者名	吉村 忍
対象年度	令和5年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		40 点
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		-20
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満	○	
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度		15 点
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		15 点
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	8	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15 点
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		15 点
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	6	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0 点
期限内に提出していない場合：-50点		

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10 点
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間									
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点			
多様な働き方	0点	5点	15点						
支援力向上	0点	5点	15点						
地域連携活動	0点	10点							
経営改善計画	0点	-50点							
利用者の知識・能力向上	0点	10点							

合計	70 点	／200点
----	---------	-------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間									
前年度（ 年度）									
雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	18,322	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,578	人	利用者の1日の平均労働時間数	4	時間	
(Ⅱ) 生産活動									
会計期間（ 月～ 月）									
前々々年度（ 令和3年度 ）									
生産活動収入から経費を除いた額	5,903,948	円	利用者に支払った資金総額	11,699,955	円	収支	▲5,796,007	円	
前々年度（ 令和4年度 ）									
生産活動収入から経費を除いた額	6,791,009	円	利用者に支払った資金総額	15,845,413	円	収支	▲9,054,404	円	
前年度（ 令和5年度 ）									
生産活動収入から経費を除いた額	4,089,392	円	利用者に支払った資金総額	18,450,752	円	収支	▲14,361,360	円	
(Ⅲ) 多様な働き方									
前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）									
①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度			②利用者を職員として登用する制度			③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律			
◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている ☒			◎利用者を職員として登用する制度を定めている ☒			在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている ☒			
④フレックスタイム制に係る労働条件			⑤短時間勤務に係る労働条件			⑥時差出勤制度に係る労働条件			
◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている ☒			◎短時間勤務に係る労働条件を定めている ☒			◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている ☒			
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度			⑧傷病休暇等の取得に関する事項						
◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている ☒			◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている ☒						
(Ⅳ) 支援力向上									
前年度（5年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）									
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会			②研修、学会等又は学会誌等において発表			③視察・実習の実施又は受け入れ			
◎研修計画を策定している ☒			◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している ☒			◎先進的事業所の視察・実習の実施している ☒			
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。 ☒			※研修、学会等名 食中毒予防 実施日 6月20日			もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている ☒			
※研修名 就労支援基礎研修			※学会誌等名 月 日			※先進的事業者名 トヨタグループ株式会社			
研修講師 前島隆一			掲載日 月 日			実施日/参加者数 8月22日 9人			
実施日・受講者数 8月 8日 8人			発表テーマ 同意書			※他の事業所名 月 日 人			
④販路拡大の商談会等への参加			⑤職員の人事評価制度			⑥ピアサポーターの配置			
◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している ☒			◎職員の人事評価制度を整備している ☒			◎ピアサポーターを配置している ☒			
※商談会等名 豊田市共同受注窓口			◎当該人事評価制度を周知している ☒			◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している ☒			
主催者名 首藤 政俊			人事評価制度の制定日 令和3年 4月 1日			※配置期間 3月1日～3月31日			
日時 9月13日			人事評価制度の対象職員数 7名			就業時間 9時～17時までの4時間			
内容 請負作業の商談会			うち昇給・昇格を行った者 3名			職務内容 利用者の相談を受ける			
⑦第三者評価			⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等						
◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている ☐			◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている ☐						
※評価を受けた日 月 日			※認証を受けた日 月 日						
第三者評価機関			規格等の内容						
(Ⅵ) 経営改善計画									
◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。 ☒									
※受理日 令和5年 3月 29日									

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	椿
住 所	豊田市上郷町会下山 7 3 - 4
電話番号	0565-77-5353

事業所番号	2313401776
管理者名	吉村 忍
対象年度	令和 5 年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所 愛知県豊明市のアパート 実施日程 10～12月の第 1, 3 水曜日 作業概要 アパートの清掃 利用者数 1名 <目的> 椿の活動を通し、体力と自信を付けて行く アパート周辺を綺麗にすることで地域に貢献する <成果> やるべき事を自分で考え、行動に移せるようになった 企業様より安心して任せられるとの評価を頂いた 今後は作業速度や報連相を意識できるよう、 支援して行く	<活動の様子> 
---	--

連携先の企業等の意見または評価

人員不足でなかなか清掃が行き届いていなかった為、大変助かっています。
入居者様にはもちろん、近隣住民の方々にも気持ちよく過ごして頂く事ができています。
今後も継続した取引をご依頼したいと思っております。

連携先企業名	株式会社 ASTAGE	担当者名	杉本様
--------	-------------	------	-----

就労継続支援A型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	椿
住 所	豊田市上郷町会下山73-4
電話番号	0565-77-5353

事業所番号	2313401776
管理者名	吉村 忍
対象年度	令和5年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所 椿 実施日程 8/4, 18, 9/1 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 就職に向けた社内研修 利用者数 全員	<活動の様子> 【1回目 8/4(金) 勤怠、生活リズム】 ・職業準備性ピラミッドについて ・日常生活の安定について 【2回目 8/18 報連相】 ・職場におけるコミュニケーションについて →職場でのコミュニケーションには何かあるのか？ 報連相の必要性について 報告・連絡・相談のコツ 【3回目 9/1 自己理解】 ・自己理解の重要性について →働く為に、自己理解は何故必要なのか？ 障がいの理解、特性の理解、対応の理解について 合理的配慮の理解
<目的> 就職活動を実施していく上で必要となる職業準備性を付ける為の学びの機会を作る事で、利用者の意識を付けて行く	
<成果> 一般の社会で働くには何が最低限必要なのか意識を向けるきっかけとなった その結果、椿内での仕事に対しても、報連相を意識して作業を行う事、障がいへの自己理解に対する必要性等の理解へと繋がった	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

研修中、利用者が積極的に考え、発言をするなど、学びの姿勢がとても前向きだと感じた。就職に対して何が必要なのかの基本的な内容をまずは知る事で、就職に向けた意識も上がっていった。 今後は椿での仕事の中で、学んだ内容をどう落としていくのか、利用者への意識づけをするにはどうするのか？などが検討課題である。	
連携先企業（担当者）	KOTONASU 前島様

利用者からの意見・評価

一般の社会で働くにあたり、事業所からは勤怠の安定や報連相などがとても大切だと言われていたが、外部講師の方の研修を受けた事で、意味を自分の中に落とす事ができた。一般就労へ行きたいという気持ちも強くなったので、今後は勤怠の安定を今以上に意識できるようにして行こうと感じている。
